

あじさい 146号

ケアホーム陽香里が完成！



「南部にもグループホームを！」と長く願い続けて来られた会員さんたちの思いが叶い、香焼町に「ケアホーム陽香里」が完成しました。入居者10名を迎え入れ、いよいよ6月に開所となります。短期入所のための部屋も4部屋併設され、2階建てのホームにはエレベーターも設置されています。

新しいなかま 手織塾おりおん



4月よりさんらいずに加わったさをり織りの工房「手織塾おりおん」は国立長崎病院の長い廊下を抜けた先の病棟の2階にあります。取材の日も7名の利用者が好きな色の糸を使って思い思いのデザインの布を織っていました。部屋には休憩室と食事をする部屋も併設され、昼食は持参したり院内の売店で購入したり、食堂で食べることもあるそうです。今後は行事や本人会などさんらいずとして活動します。



2年に1度コクラヤで展示会を開催されているそうです。室内にはカラフルな糸がたくさんありました。

もくじ

- コロナ禍の中で
- 育成会ing
- 自粛生活どうしてる？
- 完成！ケアホーム陽香里
- 紹介します！
さんらいずB型おりおん
- お知らせ

コロナ禍の中で…

～定期総会開催について～

理事長 谷 美絵

39都道府県での緊急事態宣言の解除という事態となり、長崎県下では学校や商業施設の再開などで少しずつですが世の中が動きだしてきました。しかし、コロナウイルスはまだ世界中に猛威を振るっており、ワクチンも治療薬もこれからという所で、私たちの自粛生活は当分続いていくようです。これからも、自分たちができることで、しっかり自分たちの命、生活を守っていきましょう。

さて、全国手をつなぐ育成会連合会は、今年4月一般社団法人となり法人格を取得、やっと新たなスタートを切ったばかりでした。しかし、コロナウイルスの感染拡大は続き、今後の主催する総会や全国大会、また種々のセミナーなどは中止ということになりました。また、ゆうあいスポーツ大会の中止に始まり、長崎県手をつなぐ育成会も6月の総会や各種セミナーなど、年内行事の中止は避けることはできなかったようです。（育成会ingに今後の行事予定の一覧を掲載しております）

また、長崎市内の感染状況としては、客船のクラスター発生も市内へ広がることもなく一応の落ち着きは見せていますが、国内の状況やウイルス感染のリスクを考えますと、長崎県手をつなぐ育成会の諸行事の開催についても見合わせる方向をとらざるを得ないと考えております。7月4日に開催予定の定期総会については、会員にとって「情報発信の場、研修の場、報告の場」としての大切な総会ではありますが、今年度に限っては中止することをお許しください。社会福祉法人である当会の総会は議決機関ではありませんが、年に一度様々なテーマで皆様とともに語り合う、法人育成会としても何よりも大切な会であると考えております。しかし、コロナ対策として今できることとして、ほかに選択の道はないようです。本当に残念なことです。

その代わりにという訳ではありませんが、報告ということで、会報誌は例年通り作成し全会員さんへお送りする予定にしております。また、本年度は第4次地域福祉5か年計画の中間年でもあり、そのご報告のまとめもしてお知らせする予定です。もう一つ、今年度は現況調査もかねて会員アンケートを実施します。現在、「ステイホーム」の状況下でもあり、じっくりとアンケートにお答えいただき、会員の皆さまのご意見をひとつでも多く寄せていただきたいと思いますと考えております。

世界的に見てもまだまだ出口の見えないコロナ禍の状況ではありますが、障害のある方たちの安全安心な生活を守るためにも、出来る限りのことをやっていきたいと考えております。また、必要で有効な情報があれば、皆様にお届けできるよう今後も努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆さま体調にはお気をつけいただきますよう、ご自愛ください。

知的障害のある人たちの中には現在のこの状況を理解するのが難しい方もいらっしゃいます。全国手をつなぐ育成会連合会のホームページでは、本人向けに「新型コロナウイルスにかからないようにするために」というリーフレットを作成し、公開されています。感染したり、誰かにうつさないように注意すべきことを分かりやすい文とイラストで表現されており、育成会の事業所では掲示したり配布されています。今回、育成会の事業所をご利用でない会員さんにそのリーフレットを同封しておりますので、どうぞご利用ください。

<育成会 ING>

令和2年度における長崎市育成会、全国育成会、県育成会の 主催大会開催について（お知らせ）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、政府から緊急事態宣言が発令されたことなどを踏まえ、長崎市育成会及び全国育成会、県育成会の年内主催大会等が、下表のとおり取り扱いとなりましたのでお知らせします。（令和2年5月末現在での決定事項です。）

日程・時期	大会・事業名	開催予定
5月17日(日)	ゆうあいスポーツ大会	中止
5月22日(金)	会員定例会(CH 陽香里見学)	予定通り開催(人数制限)
5月31日(日)	長崎県障害者スポーツ大会	中止
6月1日(月)	ケアホーム陽香里開所	予定通り開所
6月4日(木)	監事監査	予定通り開催
6月11日(木)	第1回理事会	予定通り開催
6月13日(土)	第1回運営協議会	予定通り開催
6月20日(土)	県育成会定期総会	規模縮小または書面表決
6月27日(土)	定時評議員会	予定通り開催
7月4日(土)	市育成会定期総会	中止（会報誌発送）
7月18日(土)	知る見るプログラム(諫早)	中止
9月19日(土)	県育成会西彼大会(時津)	中止（来年度延期予定）
10月1日(木)	第2回理事会	予定通り開催
10月3日,4日	全育連全国愛媛大会	中止
10月10日(土)	市育成会運動会(アリーナかぶとがに)	検討中（6月中に決定）
10月17日,18日	九州大会大分県大会	中止（来年度延期予定）
11月11日(水)	啓発キャラバン隊セミナー	年明け以降に延期予定

※なお、令和3年の行事、セミナー等は現時点では開催予定としています。

「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」スタート!

全国手をつなぐ育成会連合会では、障害のある本人とその生活を支える家族を守っていくための新たな事業として、本人の生活を支え家族等が働けなくなったときの暮らしを支える団体保険「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」（団体長期障害所得補償保険）をスタートいたしました。これは障害のある人とその家族、本人を支える支援者が病気やけがで働けなくなったとき、収入をサポートするものです。加入申し込みは全育成のホームページからできます。パンフレットをご希望の方はタイムケア事務局までお問い合わせください。

タイムケア事務局 ☎ 095-845-5677

自粛生活、どう過ごしていますか？

昨年11月に中国で発生が確認された新型コロナウイルスは、その後世界的流行を引き起こし全世界で450万人（5月中旬現在）もの感染者が出ました。日本でも感染者が増加し、4月7日に政府より発令された緊急事態宣言は、5月のゴールデンウィーク明けも解除されることはありませんでした。長崎は13の特定警戒都道府県には含まれていませんが、学校は休校、商業施設も休業、様々なイベントも軒並み中止になりました。長崎市手をつなぐ育成会の啓発事業でも会員定例会を始め本人向け活動の夢くらぶ、おたのしみ倶楽部、フラワーアレンジメント教室、書道教室、日中一時支援事業タイムケアについては不要不急の外出を控え三密を避けるため、2か月近くに渡って中止を決定しました。このようなことは前代未聞で、コロナ感染拡大による不安感の増大や自粛を求められる生活は知的障害のある人にとっても大きな影響を与えているようです。そこで今回はみなさんの自粛生活の様子について話をお聞きしました。



Q1「自粛生活が求められています、ご本人にどんな影響が出ていますか？」

- ・今まで通っていた活動が休みになり。「コロナで中止」と繰り返し言っているが、いつ再開するのが気になる、繰り返し何度も「いつある？」と質問攻めになる。
- ・手洗い、うがい、消毒など神経質になり、家族が帰宅の度に手洗い、うがいをしたかチェックする。テレビのニュースなどの情報で不安感が大きくなっている。
- ・通っている特別支援学校が休校になり、病院の療育や習い事もすべて休みになり、爪や皮膚をむしる自傷行為が激しくなり、不眠状態が続いている。
- ・運動不足から体重が増加したり、部屋着のまま1日過ごすなど、だらしない生活になってしまう。
- ・3ヶ所の通所を2ヶ所にし、そして休日のヘルパー利用（プールやお出かけ）と月1回のヨート利用も中止している。行かなくなった事業所やショートステイの事を毎日尋ねてくるのでかわいそうになる。また、2年ほど前にも過敏性腸症候群ではという症状があったが、今回、自粛が始まってから休日に自宅に居ると、日に10回ほど便意を訴えトイレに行く。そのうち排便があるのは半分ほどだが、下痢ではない。不思議なことに平日の事業所では一切見られない。
- ・自由に外出していたのができなくなり、ストレスが溜まっている。
- ・グループホームでは外出や週末の帰省を極力控えてもらうようにしている。



Q2「余暇の過ごし方に変化がありましたか？」

- ・予定がキャンセルになり、自宅ではテレビやDVDを観たり、ゲームをしたりして過ごすしかないのも、親としては好ましくないと思いつつ、どうにもできないでいる。
- ・体力が有り余っているので毎日2時間ほどウォーキングに連れ出している。
- ・休日買い物に出かけるくらいで、それ以外の外出は我慢させている。
- ・自由に出かけていたのが、外出の回数が減り、ヘルパーの利用も減ってしまった。
- ・グループホームでは、遠出ができなくなった分、近場で小遣いを多めに持って外出する人やヘルパーと近所の公園でお弁当を食べる人、みんなでホームの掃除や草取りをすることもある。



Q3「家族や本人に精神的な影響は出ていますか？」

- ・自分や家族、職場、通勤時など、どこかで感染するのではないかと不安でたまらない。
- ・テレビでコロナウィルス関連のニュースを観る機会が多くなり、本人が不安に感じているので、できるだけ理解できるように伝えている。
- ・緊急事態宣言が解除になる日にコロナが終わる（なくなる）と決めつけているので、そうではないことを説明している。同じことを聞かれる度に納得するように話すのが負担になってきた。また、こちらもしっかりした回答を提示できないのでストレスを感じる。
- ・先の見通しの立たない自粛生活に不安定なり、何度も同じことを聞いて来る本人に、ついイライラして強い口調で返事してしまう。

グループホームの入居者のみなさんの様子もお聞きしたところ、週末は自宅へ戻ったり、自分であるいはヘルパーさんと出かけたりする方が多く、みなさん思い思いの過ごし方をされていたのが、自粛要請を受け、できるだけ帰省や外出を控えるようにされているそうです。しかし出かけられないストレスやホームにみんながいることで聴覚や視覚的な刺激も多くなり落ち着かなくなる人もいらっしゃるようで、少しでもストレスを減らすため、密を避けてホーム周辺の散策や近くの公園まで出かけたりされているようです。またケアホームを除く育成会のグループホーム事業には本来日中支援は含まれておらず、自粛生活が長引けば入居者の日中支援のための職員配置にグループホーム事業の負担は大きくなっていくことが懸念されます。

誰もがかつて経験したことのない大変な日々を過ごしています。災害と違って自宅に居ることができただけいいのかもしれませんが、状況を理解しにくい知的障害のある人にとって、マスクの着用やソーシャルディスタンス（人と一定の距離を置くこと）、外出自粛を求められ不安やストレスが募る日々に違いありません。そしてこの状況を本人に納得させ我慢させなければならぬ家族や支援者の負担も長引くほど大きくなります。また、万が一家族が感染したら障害のある本人をどうすればいいのか、本人が感染したらどうすればいいのか、入院や隔離の際の支援も親としては大いに気になります。今回、一部の方にお話を聞いただけでも、様々な困り感が浮き彫りになりました。学齢期の子を持つ保護者は学校が休校の間、生活の変化に戸惑い不安定になる本人の対応や放課後等デイサービスなどのサービス



サービスの利用調整に追われ大変だったという話も聞きました。幸い育成会の日中事業所は感染予防の対策をとり、土曜営業日の内容も工夫をしながら開所を続けていますが、

日中事業所や放課後デイ、移動支援などの障害福祉サービス事業所までが休みになるとさらに大きな影響が出てきます。感染者数は減少しているとはいえ、今後第2波、第3波が来るとい話もあります。誰もが出口の見えない不安の中にいますが、1日も早くこの事態が収束して以前のように自由に活動できる落ち着いた日々が戻ることを願っています。



長崎市育成会のフェイスブックを開設しました！

長崎市手をつなぐ育成会のフェイスブックを開設しました。当会の行事や会員活動、本人活動の情報をお届けします。よかったら覗いてみてくださいね。

ケアホーム陽香里が完成しました

広報あじさいでたびたび経過をお知らせしていましたが、育成会としては南部初のグループホームとなる「ケアホーム陽香里」が完成しました。施工された積水ハウスさんの完成見学会に合わせ、定例会でも5月22日に「ケアホーム陽香里」見学会を実施しました。香焼町の県道沿いに建てられたホームはすぐそばにコンビニもあり、道路を挟んだ向かいには大きな三菱の工場が並んでいます。30代～50代の女性4名、男性6名の入居を待つばかりとなったホームはエレベーターを完備した2階建てで、少し大きめの民家のような佇まいでした。日中は日中世話人が掃除や洗濯、夕食作りなどにあたります。入居者の帰宅後には支援員と夜間世話人が食事や入浴などの支援をし、夜間は3名の職員が見回りやトイレ介助などを行います。看護師も常勤で日頃の体調管理と通院や服薬の支援を行います。入居者の負担は家賃、光熱費、食費など合計すると月に8万程度というお話でした。



広々としたダイニングルームにはコロナの影響で予定していた車椅子の方に対応したテーブルがまだ届いていないとのことでした。テレビの前にはソファが置かれ、くつろげそうな雰囲気でした。

居室は6.5畳程度、1階に4部屋、2階に6部屋、短期入所用の部屋は各階に2部屋ずつありエアコンは備え付けられています。また、共有部分やそれぞれの居室にもスプリンクラーが設置されています。



お風呂は各階に一つずつあり、男性用、女性用に分かれています。1階には先々リフトが取り付けられるような造りになっているそうです。

トイレは各階に3か所ずつ計6か所あります。



2階の洗濯室には洗濯機4台、乾燥機2台が設置される予定です。



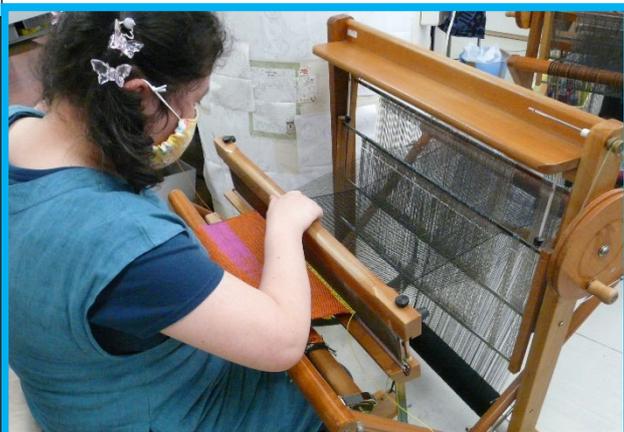
さんらいずの
新しい仲間

「手織塾おりおん」



広報あじさい145号育成会ingでお知らせした通り、桜木町の国立長崎病院内にあったNPO 法人の地域活動支援センター「手織塾おりおん」が、今年度4月よりさんらいずに加わりました。これを機にさんらいずの就労継続支援 B 型事業はこれまでのお菓子作りに新たにさをり織りを加え、この夏のギフトには早速コラボ商品も登場するそうです。ますます魅力がアップしそうですね。

「手織塾おりおん」は定員10名のところ、現在7名の方が利用されています。遠い方は木鉢から通っている方もいます。みなさん1時間ほど作業して休憩というサイクルで集中して作業されており、織り方は2週間くらいでマスターされたそうです。みなさん好きな色の糸を好きなように配置しながら作品を仕上げられ、出来上がった布を支援員が洗って糊付けし、アイロンをかけ芯を入れてバッグやポーチ、巾着などの製品に仕上げられています。みなさんが選ぶ色で個性が出るのだそうです。



以前から支援をしてきた2名の職員さんは「戸惑うこともあるけれど、みなさん素直だし笑顔を見ると心が洗われるような気持ちになります。」と言われていました。これまでの製品をフォトブックにしたものを見せていただきましたが、織りを活かした素晴らしい色使いのバッグや衣類に仕上げられてあり、それをフォトブックにして残されているところにも愛情を感じました。



さをり織りの糸には綿、麻、シルク、麻、紬、ウールなどがあります。1本の糸で織ると表面はなめらかですが、短い糸を結んで織ると、繋ぎ目が表面に出てまた表情が変わります。

おりおん最年長の大隅さんは「さをり織りの仕事は楽しい。自分が織ったものが売れたときは嬉しい。」と話されていました。また、「今後ほかのさんらいずの利用者と一緒に今まで体験できなかったことをするのが楽しみ。早く溶け込みたいです。毎日さんらいずのTシャツを着て来ます。」と笑顔で話されました。



おしらせ

書道

日時:第4土曜日 時間:午後1時~
場所:ハートセンター社会適応訓練室
会費:1回 500円

社会福祉法人
長崎市手をつなぐ育成会 広報部
長崎市大橋町 19-19
文教カテリーナ1F
Tel:095-845-5677
E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~
場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室
会費:1回1300円



おたのしみ倶楽部

日時:6月21日(日)13時~15時 日時:7月19日(日)13時~15時
内容:父の日メッセージカード作り 内容:お好み焼き作り

*参加費300円に加えて6月は材料代200円、7月は材料代400円も請求させていただきます。

*人数把握のために必ずお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせはハートセンター事務局まで。 ☎:847-1290

※計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。

定例会

日時:6月22日(月)10時~12時 育成会生活支援センター会議室(大橋町)
「事業所での困りごと どうしてる?」ご利用の様々な事業所での困りごとどうしてますか?
日時:7月15日(水)10時~12時

※ お問い合わせはタイムケア事務局まで ☎845-5677

育成会会費納入のお願い

令和2年度の育成会会費を6月10日(水)に引き落とさせていただきます。この日に引き落とせなかった場合は6月30日(火)を予備日として設定させていただいています。

口座振替にしている方はどうぞよろしくお願ひいたします。

また、育成会事業所をご利用の方は昨年同様5月の利用料と合算して6月に納入をお願いします。なお、今年度より会誌「手をつなぐ」を購読されている方は購読料3900円もいっしょに納入をお願いします。新規に口座振替をご希望の方はタイムケア事務局までお問い合わせください。
タイムケア事務局 ☎ 095-845-5677